

令和２年度モニター通信における意見及び回答⑦

意 見

【観光・産業・交流】２０２１年ユネスコ世界ジオパーク再審査に向けて（要旨）

２０１８年４月１６日に伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定され、２０２１年６月頃にユネスコの再審査が予定されています。再審査に向けて、以下４点を提言します。

(1)自然景観を破壊するメガソーラー建設をさせないこと

「伊豆高原メガソーラー」建設は、工事は中断しているものの、建設断念に向けて更なる事業者への指導が必要です。

(2)伊豆半島ジオパーク伊東ビジネスセンター（ジオテラス伊東）のリニューアル工事の実施

２０２０年度当初予算で上げられた、誘導看板と展示室改善予算（約１００万円）が、執行直前にコロナ禍により実施が見送られました。来年度の６月の完成に向けて復活予算を要望します。案内看板は、伊東高校城ヶ崎分校美術部員の発案による看板に期待しています。展示室も、ジオテラス（修善寺総合会館案内）と同様の「伊豆半島の成り立ち」やドローン映像を見ることができるようにしてほしいです。

(3)城ヶ崎海岸いがいが根展望台の建設

いがいが根は、流れやすい溶岩が大室山から３キロ以上も流れてできた溶岩流です。３ｍくらいの展望台を設置することで、シワのような地形を見ることができるようになり、一段と魅力的なジオスポットになると思います。

(4)城ヶ崎海岸まえかどジオ看板の移動

まえかどは足元の溶岩流、溶岩の色・形、植物、富戸のまち、ボラ魚見小屋を一望できるジオスポットです。ガイドが案内する時は、ジオ看板で説明し、現地に行き案内しています。ジオ看板が灯台側にあるため、富戸側のまえかどへ下りる道の入口に移動してほしいです。

回 答

(1)メガソーラーの建設について

伊豆高原メガソーラーパーク発電所（仮称）建設計画に対する本市の対応につきましては、土地利用事業等の指導に係る担当部署が中心となって対応を継続している中で、伊豆半島ジオパークという観点からは、２０２１年ユネスコ世界ジオパーク再審査に向けてどのような影響を及ぼすか等について、関係機関と積極的に情報共有し、適切な対応を図ってまいります。

(2)伊豆半島ジオパーク伊東ビジターセンター(ジオテラス伊東)のリニューアル工事の実施について

ジオテラス伊東の改修につきましては、令和２年度での事業執行を見送り、伊豆半島ジオパ

ーク推進協議会に改めて御協力をお願いし、御提案をいただきました。

その中では、伊東高校城ヶ崎分校美術部員による入口看板の作成やドローン映像を取り入れた伊東のジオ動画の制作などが盛り込まれており、これらをジオテラス伊東改修に係る経費として、令和3年度予算に計上するよう検討を進めてまいります。

引き続き、伊豆半島ジオパーク推進協議会の御協力をいただきながら、事業実施に向けて努めてまいります。

(3)城ヶ崎海岸いがいが根展望台の建設について

城ヶ崎海岸における展望台としましては、門脇つり橋、門脇駐車場、対島の滝付近に整備し、来遊客に好評を得ているところです。

いがいが根につきましては、自然研究路の中でも、伊豆大島をバックに撮影する来遊客が多い人気のあるビュースポットであり、御提案のような展望台があればジオスポットとして更なる魅力の向上に繋がるものと考えられますが、既存の展望台と比較しますとアクセス面での課題もありますことから、今後におきましては、当該地での整備の必要性や費用対効果等について慎重に検討してまいります。

(4)城ヶ崎海岸まえかどジオ看板の移動について

御指摘のとおり、まえかどのジオサイト説明看板は門脇灯台側に設置しており、富戸のまち等について記した盤面の内容をガイド案内していただくには富戸側に向けた位置に設置した方がより効果的であると認識しております。

来遊客の安全確保と利便性の向上に向けて、ピクニカルコース内に設置いたしました他の説明看板や破損等により修繕を要する箇所の改善を含め、優先順位を考慮した上で、順次、対応を図ってまいります。

担当：観光課 観光施設係 電話：32－1716